

建物及び設備における石綿使用状況

沖縄電力株式会社
平成18年6月末現在

対 象	使用箇所	現状（使用状況等）	備考（対応状況 他）	
石綿を含有する吹付け	耐火吹付け材として 自社建物の一部に使用	<ul style="list-style-type: none"> ・自社建物：1棟 ・本館棟1、2F梁（※囲い込み対策済み）、 機械室 	機械室については施錠を行い、入室管理を徹底している。 当該建物の石綿を処置する際には飛散防止対策を講じる。	
石綿含有製品	建材	天井材、吸音材、外 壁材に使用	<ul style="list-style-type: none"> ・自社建物：140棟（対象建物数：429棟） 	成形品であり、通常状態において飛散性はないため、定期検査や修繕工事等の機会に合わせて順次、非石綿製品へ取り替えていく。
	防音材	変圧器の防音材	<ul style="list-style-type: none"> ・8台 ・変圧器の防音壁に使用（石綿セメント板） 	
	石綿セメント管	地中線用の管路材料 （送電設備） ※配電設備については使用箇所なし	<ul style="list-style-type: none"> ・巨長：約2.6km ・地中送電線用の管路材料 	
	保温材	発電設備 （火力設備）	<ul style="list-style-type: none"> ・約1,200m³（全数の1割以下） 	
	シール材・ ジョイント シート	発電設備 （火力設備）	<ul style="list-style-type: none"> ・石綿含有製品： （火 力）約79,000個（全数の約8割） 	
	緩衝材	送電設備等の懸垂碍 子	<ul style="list-style-type: none"> ・懸垂碍子 約73,000(個) （石綿含有製品は磁器と金具間の緩衝材として碍子内部に封入。碍子の磁器部分には使用されていない。） 	
	増粘剤	架空送電線用の電線	<ul style="list-style-type: none"> ・電線防食剤：巨長約2.5km 	

※平成18年6月末までに調査した結果をとりまとめ、緩衝材、増粘剤の使用状況を追加した。